

教師說明型
兒童生徒実践型



岐阜県関市立武儀西小学校
小井戸 政 宏

実践テーマ

動画を提示した電子黒板を学びの1コーナーとして設置し、ヒントとして利用する児童、確かめとして利用する児童など多様な児童に対応させながら、三角形の面積の求め方を考える。

授業の進め方・ICTの活用の仕方

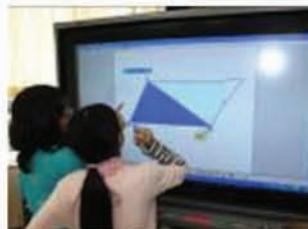
〈導入〉 デジタル教科書で、本時の学習対象となる三角形を提示し、課題化を図った。

ノンブル教科書で、本時の学習目標による二角ルンを提示し、課題題を因づけた。

（講義）
（まとめ）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教科書の中にある、三角形を提示し、本時の課題化を図った（静止画①）。 	●「新版たのしい算数教師用指導書 別冊『IT活用編』（5年）」（大日本図書（株））
展開	<ul style="list-style-type: none"> 三角形を描いた用紙を配り、自由に切ったり、線を入れたりして考えた。 どんな形に変形すればよいのか・どこを切るとよいのかなどつまづきのある児童、考えに自信がない児童、すでに考えがまとまった児童、それぞれが、電子黒板の動画に触れて、考えづくりをした（PC教材）。その中で生まれる言語活動を教師が引き出した。 自分の考え（ノート）を実物投影機から電子黒板に取り込んだ。 	●自作PC教材（フラッシュコンテンツ） 使用ソフトウェア： Adobe® Flash® CS4 （アドビシステムズ（株））
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板内に取り込んだ自分の考えを提示して、線を引いたり、色を塗ったりしながら、説明をした（静止画①）。教師は、ねらいに迫るキーワードを引き出したりした。 児童の考え方を元に、「三角形の面積は、既習の四角形に変形をすれば求めることができる」ことをまとめた。 	●スマートノートブック (日本スマートテクノロジーズ(株))



児童が電子黒板の動画に触れて、考え方づくりをする



自分の考えを提示し、線を引いたり色を塗ったりしながら説明

児童の反応・効果

- ・電子黒板コーナーに集まっている児童たち（つまずいている児童、自信がない児童、確かな考えを持っている児童）が「あっそーか！」「やっぱり！」など、それぞれの反応を示した。
 - ・この時、確かな自分の考えをもっている児童は、動画を示しながら解説をした。つまずいている児童は、考え方を学んだ。席に座っている児童は、電子黒板前に繰り広げられる会話を聞いて、自分の考えづくりに生かした。

活用のポイント

- ・自力解決の場面では、電子黒板を1つのコーナーとして位置付ける。今回は、三角形が他の形に変形する動画が有効である。
 - ・コーナーに集まった児童からねらいに迫る言語活動を引き出す。そのために教師は、あらかじめ予想される言語活動を明確にしておくとよい。